

WILCOMM

Complete User Manual for:

 **ウィルファイル・セットアップ**

FIL002 (Last Update : 2002/5/7)

WilComm AS400 V7.15

© Copyright 2000
K.I.S.S. Inc.



ウィルファイルサービス（スプールファイル保管サービス）

1.概要

ウィルファイルはスプールファイルを PDF もしくは TXT 形式にてネットワーク上の指定フォルダーに保管する機能を提供します。**V7.15 より AS 側の WilSpool、API の標準機能として追加されました。（OUTQI=アウトキューインターセプターとは未対応です）**

この機能を使用することにより、従来はメールの送受信にて対応していたファイル保管を、直接、指定フォルダーに保存することができるようになります。ファイルの名前付けに関しても API を利用することにより柔軟な対応が可能となります。

【WilSpool 補足説明】

OS400 の WRKSPLF（スプールファイルの処理コマンド）をコピーし、Wilcomm に必要なオプションを付加した機能です。スプールファイルを手動で処理する場合に利用されます。

【API 補足説明】

上記 WilSpool で内部的に使用されているコマンドへプログラミングによりパラメータを渡し、Wilcomm/400 を稼働させる機能です。

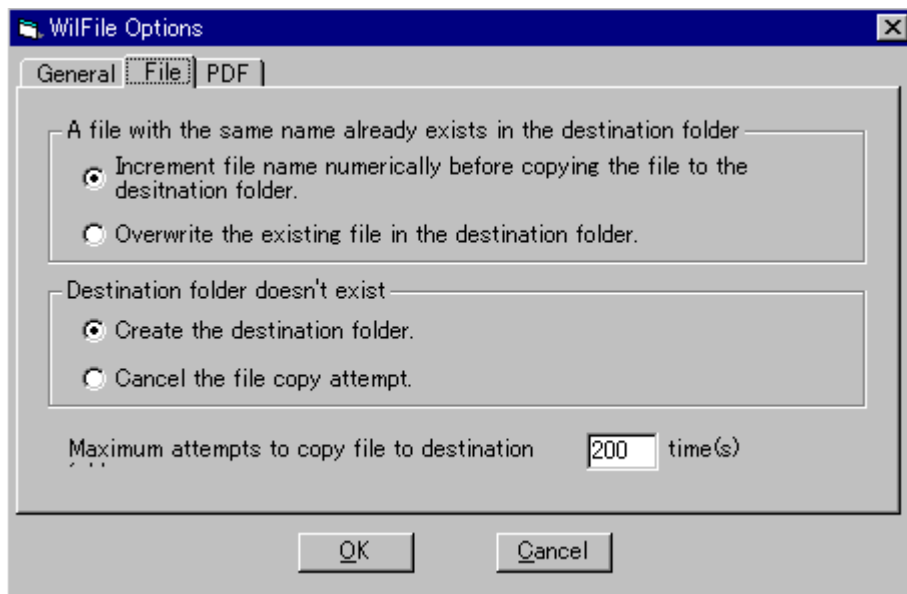
2.設定方法（PC サーバー側）

ウィルファイルは現バージョンでは OUTQI（アウトキューインターセプター）との対応がとれてないためディストリビューションウィザードへの登録は不要（不可能）です。ウィルファイルを起動して既定値のみ設定を行います。詳細については下記をご参照下さい。

（１）ウィルファイルを起動します。



メニューバーよりツール・オプションの順に選択します。
次ページ File というタブを選択し既定値を確認します。



画面上部のウィンドウにてファイルの存在チェックについての設定をします。

☐ **Increment file name numerically.....**

同じファイル名が指定のフォルダーに存在していた場合は自動的にファイル名の最後に番号を付番します。

例：ファイル名、QPRINT.pdf が存在していた場合、新しく保管されるファイルは QPRINT1.pdf という名前となります。

☐ **Overwrite the existing file in the destination folder.**

こちらを選択した場合は、上書き処理されます。

画面下部のウィンドウでは、フォルダーの存在チェックについての指定をします。

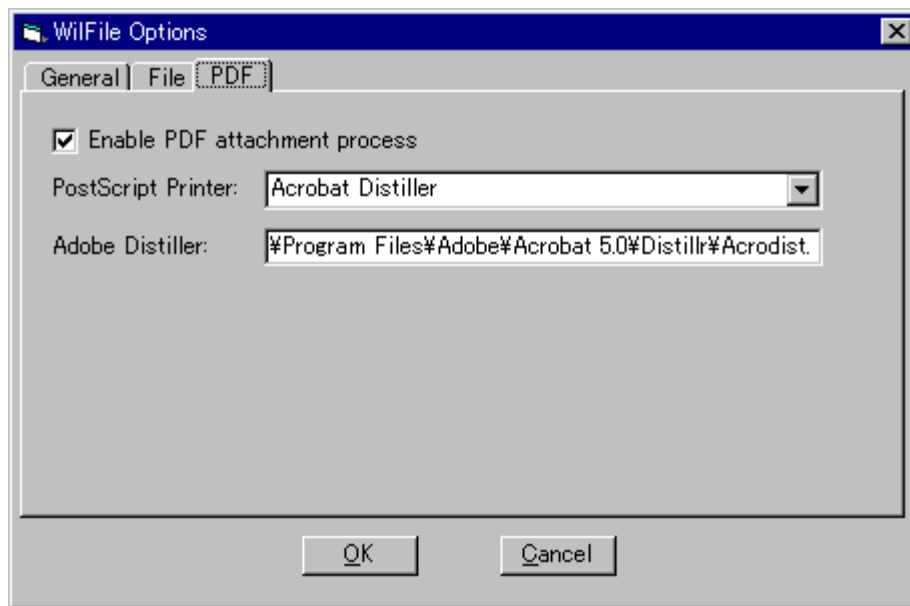
☐ **Create the destination folder.**

指定されたフォルダーが存在しなかった場合、あらたに作成されます。

☐ **Cancel the file copy attempt.**

指定されたフォルダーが存在しなかった場合、該当ジョブをキャンセルしエラーを返します。

次ページ PDF というタブを選択し既定値を確認します。



画面上部のウィンドウにて Adobe Acrobat についての設定をします。

☐ **Enable PDF attachment process.**

PDF ファイルの変換処理を可能にします。

導入時は PDF ファイル変換処理不可（チェックされていません）と設定されています。

Adobe Acrobat が導入済みであることが前提となります。

☐ **PistScript Printer.**

Acrobat Distiller を選択 / 設定します。

☐ **Adobe Distiller.**

Adobe Acrobat を導入したフォルダーの中の Acrodist.exe を設定します。

設定は以上です。